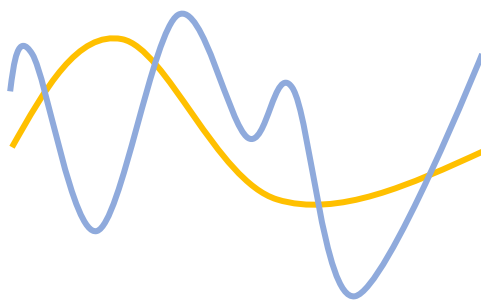


アナリーゼ
波動分析報告書／測定値

あとれとわの塩5年以上

2026年10月15日

天と〇と地（あとれとわ）様



アクアタック研究室
代表／片岡 章



〒 201-0004

東京都狛江市岩戸北3-8-11-401

Tel : 03-3480-9618

E-mail : aquatack@msc.biglobe.ne.jp

HP : <https://www.aquatack.com>

波動分析報告書／測定値

あとれとわの塩5年以上

2026年10月15日

天と〇と地（あとれとわ）様

アクアタック研究室

代表 片岡 章



〒201-0004

東京都狹江市岩戸北 3-8-11-401

Tel : 03-3480-9618

e-mail : aquatack@msc.biglobe.ne.jp

検 体 : あとれとわの塩5年以上

測定形態 : 波動消去したピーカーに検体10 g を入れて測定

測 定 者 : 片岡 章

測 定 器 : PRA-NK型

測 定 日 : 2026年10月9, 10, 15日

(S +1 = +100億)

No.	項 目	code	あとれとわの塩5年以上		
1	恒 常 性 維 持 力・免 疫 力	B222	S +68.1		
2	交 感 神 経	D140	S +68.1		
3	副 交 感 神 経	D599	S +67.9		
4	ホ ル モ ン バ ラ ン ス	C895	S +68.1		
5	生体防御力(広義の免疫)	X247	S +68.1		
6	代 謝	H094	S +68.1		
7	血 液 循 環	F543	S +68.1		
8	ミ ネ ラ ル バ ラ ン ス	H013	S +68.1		
9	抗 酸 化 作 用	A214	S +68.1		
10	ス ト レ ス	E222	S +68.1		
11	良 質 な 睡 眠	L206	S +68.1		
12	冷 え 症	K274	S +68.1		
13	だ る さ・倦 怠・疲 労	D823	S +68.1		
14	む く み	E791	S +68.1		
15	痛 み	D296	S +67.9		
16	発 汗 作 用	O789	S +68.1		
17	電 磁 波 障 害	M635	S +68.1		
18	金 属 毒	Z381	S +68.1		
19	薬 の 害	V882	S +67.9		
20	ウ イ ル ス	F121	S +68.1		
21	細 菌 性 毒	F708	S +68.1		
22	動 物 毒 素 (全 種)	D679	S +68.1		
23	ミ ト コ ン ド リ ア	O669	S +68.1		
24	m R N A	M280	S +68.1		
25	血 液	C540	S +68.1		
26	低密度リボ蛋白質(LDL・悪玉)	D853	S +68.1		
27	高密度リボ蛋白質(HDL・善玉)	E018	S +68.1		
28	リ ン パ 液	D175	S +68.1		
29	脳 全 体	C583	S +68.1		
30	甲 状 腺、副 甲 状 腺	E384	S +68.1		
31	気 管	C042	S +68.1		
32	肺	D996	S +68.1		
33	乳 腺	D698	S +68.1		
34	心 臓	D166	S +68.1		

波動値は、どの項目も、数値
の高い方が、望ましい意味に
なります。

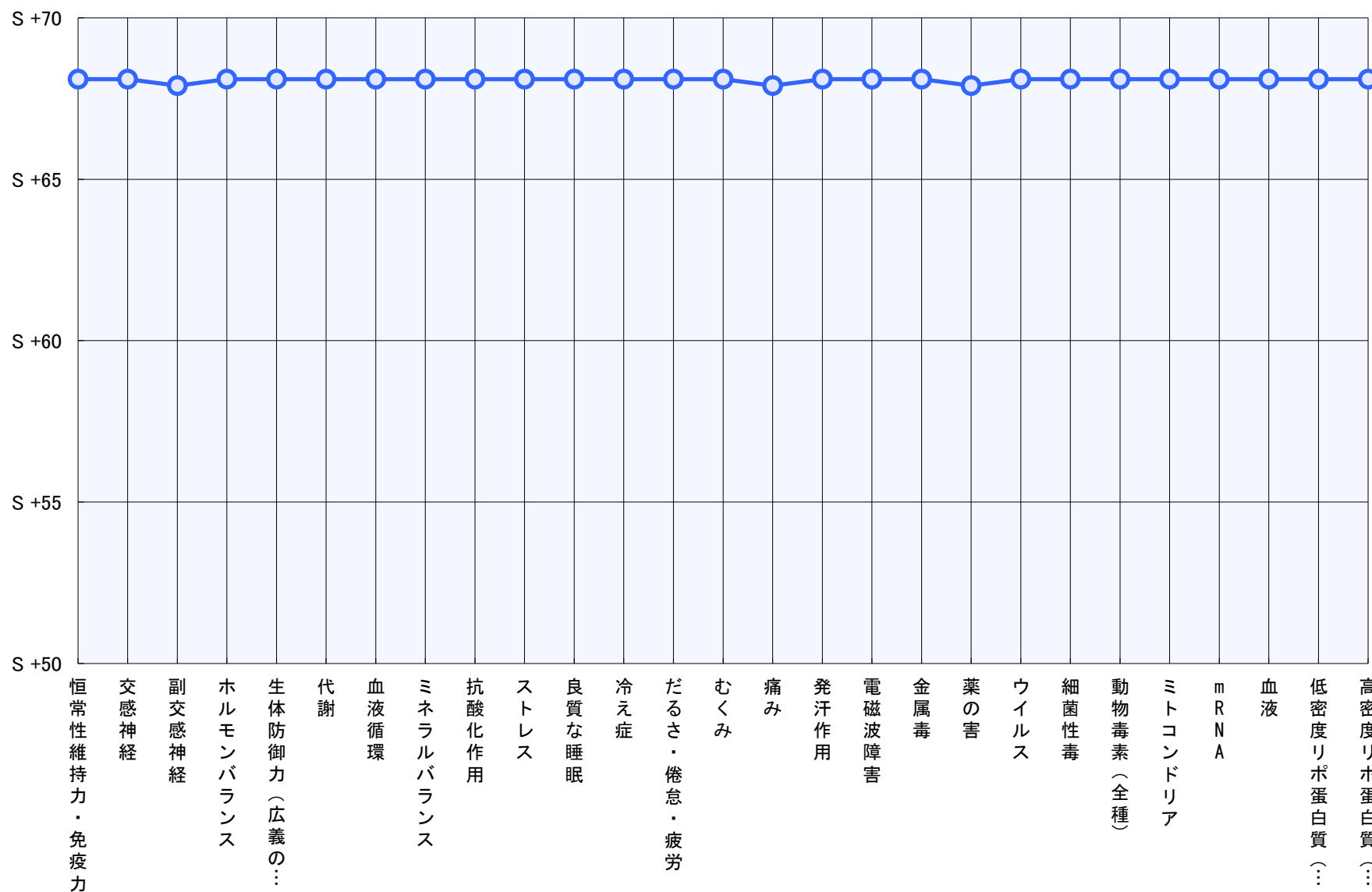
例：
[ストレス]が高い = ストレスの
波動を解消する力が高い

No.	項 目	code	あとなとわの塩5年以上		
35	血 管	D614	S +68.1		
36	歯 周 病 ・ 歯 槽 膿 漏	D008	S +68.1		
37	食 道	D993	S +68.1		
38	胃	D199	S +68.1		
39	腸 管	C419	S +68.1		
40	腸 内 細 菌 叢	D325	S +68.1		
41	肝 臓	D273	S +68.1		
42	脾 臓	D302	S +68.1		
43	腎 臓	D802	S +68.1		
44	子 宮	D449	S +68.1		
45	卵 巣	D096	S +68.1		
46	前 立 腺	D313	S +68.1		
47	精 巣	E104	S +68.1		
48	皮 膚	D330	S +68.1		
49	肌 の き め	K079	S +68.1		
50	肌 の 潤 い	A423	S +68.1		
51	筋 肉	A709	S +68.1		
52	骨	D784	S +68.1		
53	関 節	D630	S +68.1		
54	炎 症	D372	S +68.1		
55	悪 性 腫 瘍 (が ん)	F005	S +68.1		
56	糖 尿 病	D789	S +68.1		
57	ア レ ル ギ ー	G383	S +68.1		
58	熱 中 症	M561	S +68.1		
59	貧 血	I784	S +68.1		
60	頭 痛	O490	S +68.1		
61	認 知 症	D654	S +68.1		
62	脳 梗 塞	A026	S +68.1		
63	鬱 (う つ) 病	D859	S +67.9		
64	甲 状 腺 機 能 亢 進 症	C312	S +68.1		
65	喘 息 発 作	H236	S +68.1		
66	動 悸 亢 進	D212	S +68.1		
67	動 脈 硬 化	F244	S +68.1		
68	高 血 圧	D520	S +68.1		
69	食 欲 減 退	F476	S +68.1		
70	乾 燥 肌	B112	S +68.1		
71	痒 み	D111	S +68.1		
72	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	F919	S +68.1		
73	通 風	D352	S +67.9		
74	炎 症 性 リ ウ マ チ	J031	S +67.9		
75	中 庸	D883	S +68.1		
76	浄 化	U949	S +68.1		
77	氣 滞	V819	S +68.1		
78	松 果 体	A222	S +68.1		
79	右 半 球 (右 脳)	C666	S +68.1		
80	左 半 球 (左 脳)	C429	S +68.1		
81	直 観 力 ・ 直 感 力	R849	S +68.1		
82	叡 智	Z863	S +68.1		
83	思 考 力	C052	S +68.1		
84	集 中 力	C952	S +68.1		

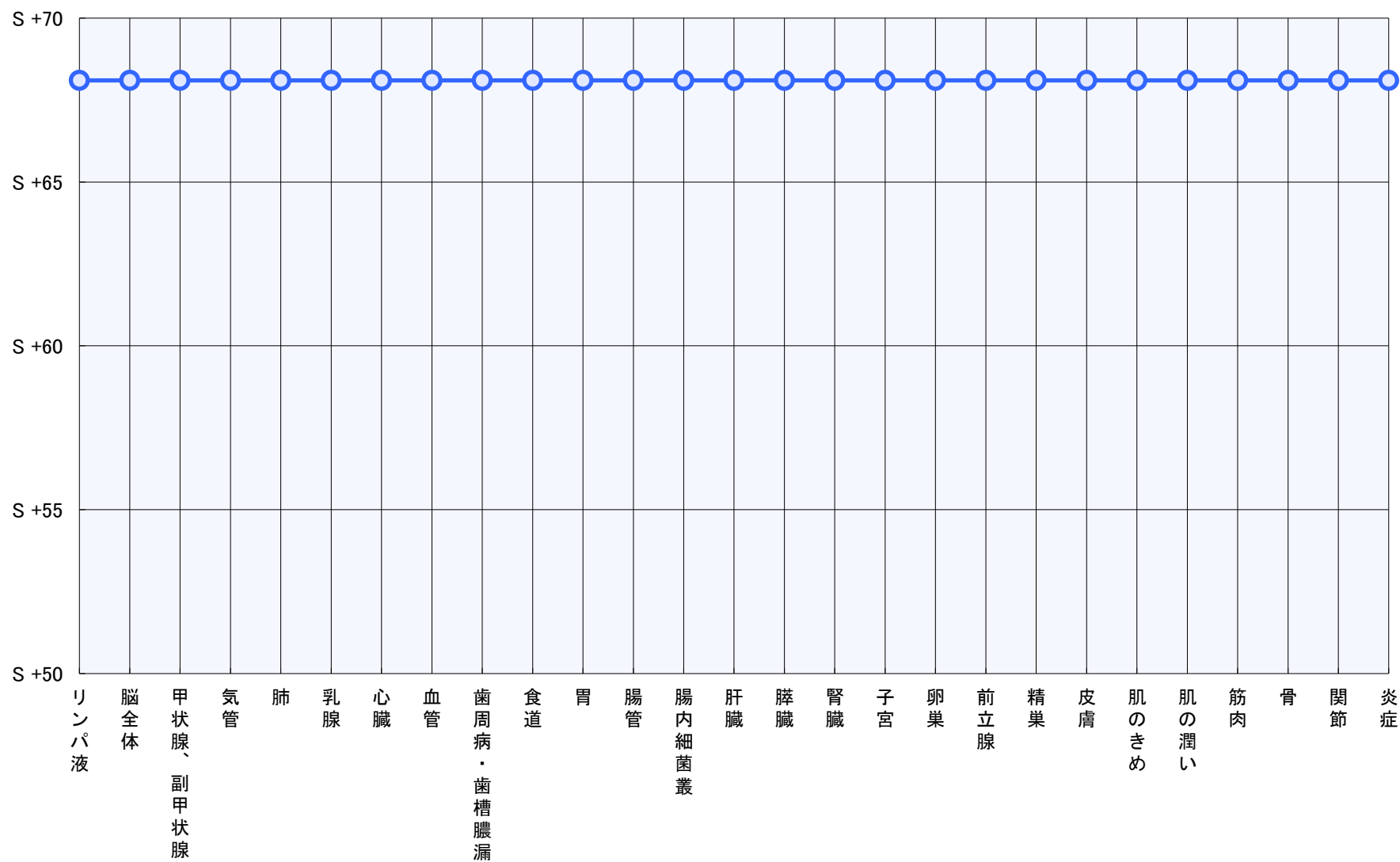
No.	項 目	code	あとれとわの塩5年以上		
85	第7チャクラ（サハスララ）	A000	S +68.1		
86	第6チャクラ（ア ジ ナ）	A120	S +67.9		
87	第5チャクラ（ヴィシュダ）	0000	S +68.1		
88	第4チャクラ（アナハタ）	L300	S +68.1		
89	第3チャクラ（マニプラ）	E533	S +68.1		
90	第2チャクラ（スワディスタナ）	G020	S +68.1		
91	第1チャクラ（ムーラダーラ）	A330	S +68.1		
92	幸 福 ・ 愛	C493	S +68.1		
93	感謝⇔足ることを知らない心	A596	S +68.1		
94	恨 み	D921	S +68.1		
95	心 配 ・ 不 安	D177	S +68.1		
96	怒 り	D672	S +68.1		
97	いらだち・いらいら	D265	S +67.9		
98	責任感・良い判断 ⇔良心の咎め	A301	S +68.1		
99	明確・決断力 ⇔不確か・優柔不断	B437	S +68.1		
100	意 志	D604	S +68.1		
101	強い確信と道徳感 ⇔他からの影響を受け過ぎる	D358	S +67.9		
102	陽気で平和 ⇔ 思わしくない思考に 取りつかれる	B462	S +68.1		
103	自 己 肯 定	M914	S +68.1		
104	気 苦 労	E055	S +68.1		
105	悲 し み	E038	S +68.1		
106	寂 し さ	E030	S +68.1		
107	恐 怖	A241	S +68.1		
108	バランスのとれた生活・勇気 ⇔過労・過労死傾向	A377	S +68.1		
最 大 値			S +68.1		
平 均 値			S +68.1		
最 小 値			S +67.9		
標 準 偏 差 （“S”の付かない表記）			S +0.1	(+3)	
* これまでに測定されている最も高い数値は S +68.1 です。					

- ☆ 頭に“S”のつく数値は、対数(log)を使用して独自に作成したものです。そのため、
- ・ 小数点以下の数値は1～9のみとなります。0はありません。
 - ・ 誤差の切上げ(切下げ)により、見かけ上、平均値が最大値(最小値)と同値になることもあります。
- 数値の詳細については、ホームページから資料『波動値の変換方法』をご覧ください。
- ☆ 「標準偏差」は、データの分布、ばらつきを示す指標です。また、優劣ではなく、ひとつの特徴を表すものです。
- ☆ 波動値は、どの項目も、プラスの方が、望ましい意味になります。
- ☆ 波動値の高低が示すのは、波動の活性度や作用の仕方であって、単なる優劣ではありません。
- ◎ 当波動測定は、現行の科学の範疇に属するものではありません。
- また、医学的・薬学的な効能を保証するものでもありません。
- ◎ 上記の理由から、当報告書につきましては、
- 通常の化学分析・成分分析のような扱い(パッケージへの表示など)ではなく、
- ひとつの試みによる資料としてご利用くださいますよう、お願いしております。
- その範囲・スタンスであれば、印刷物・ネット情報として公表していただいて構いません。

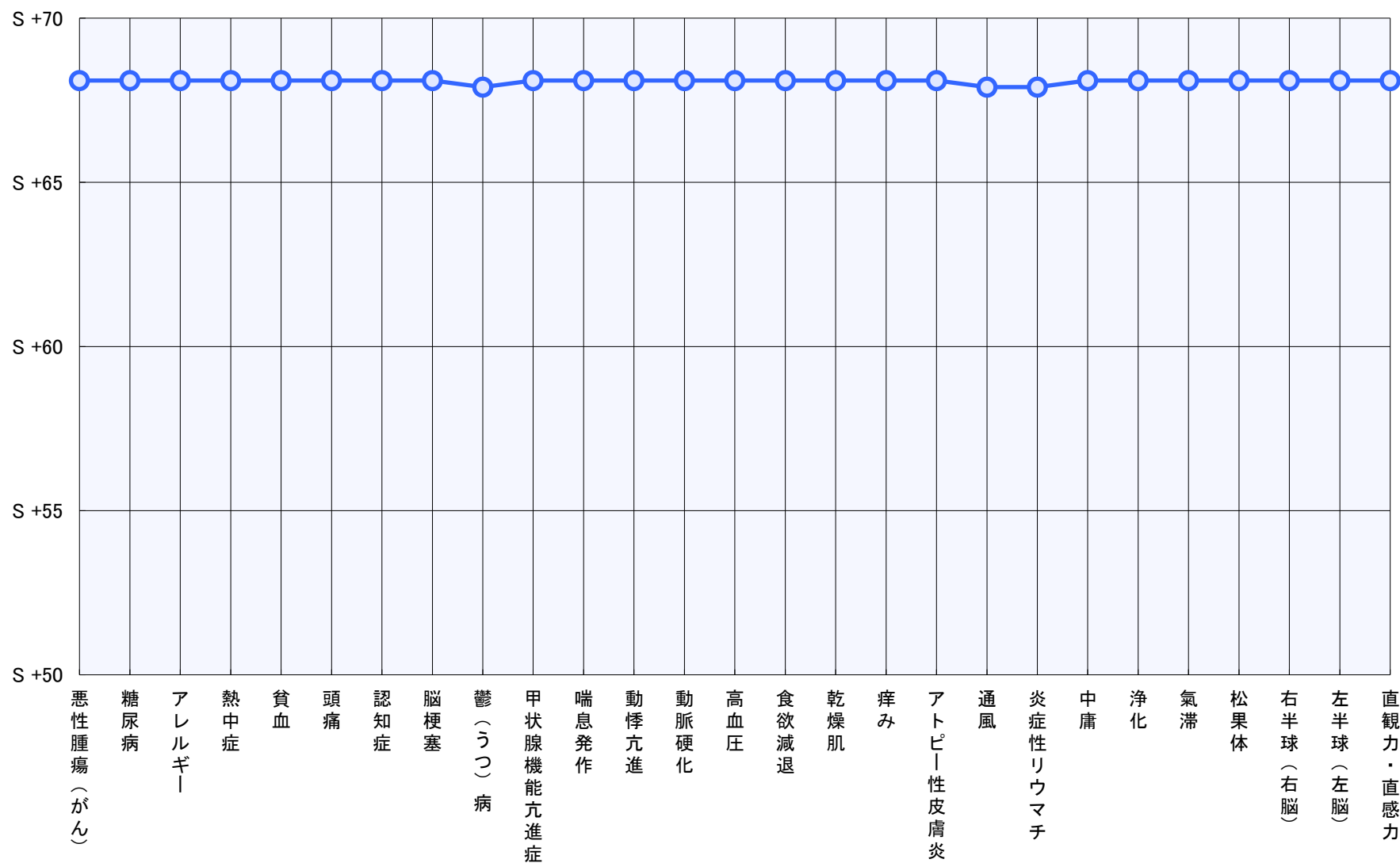
あとれとわの塩5年以上



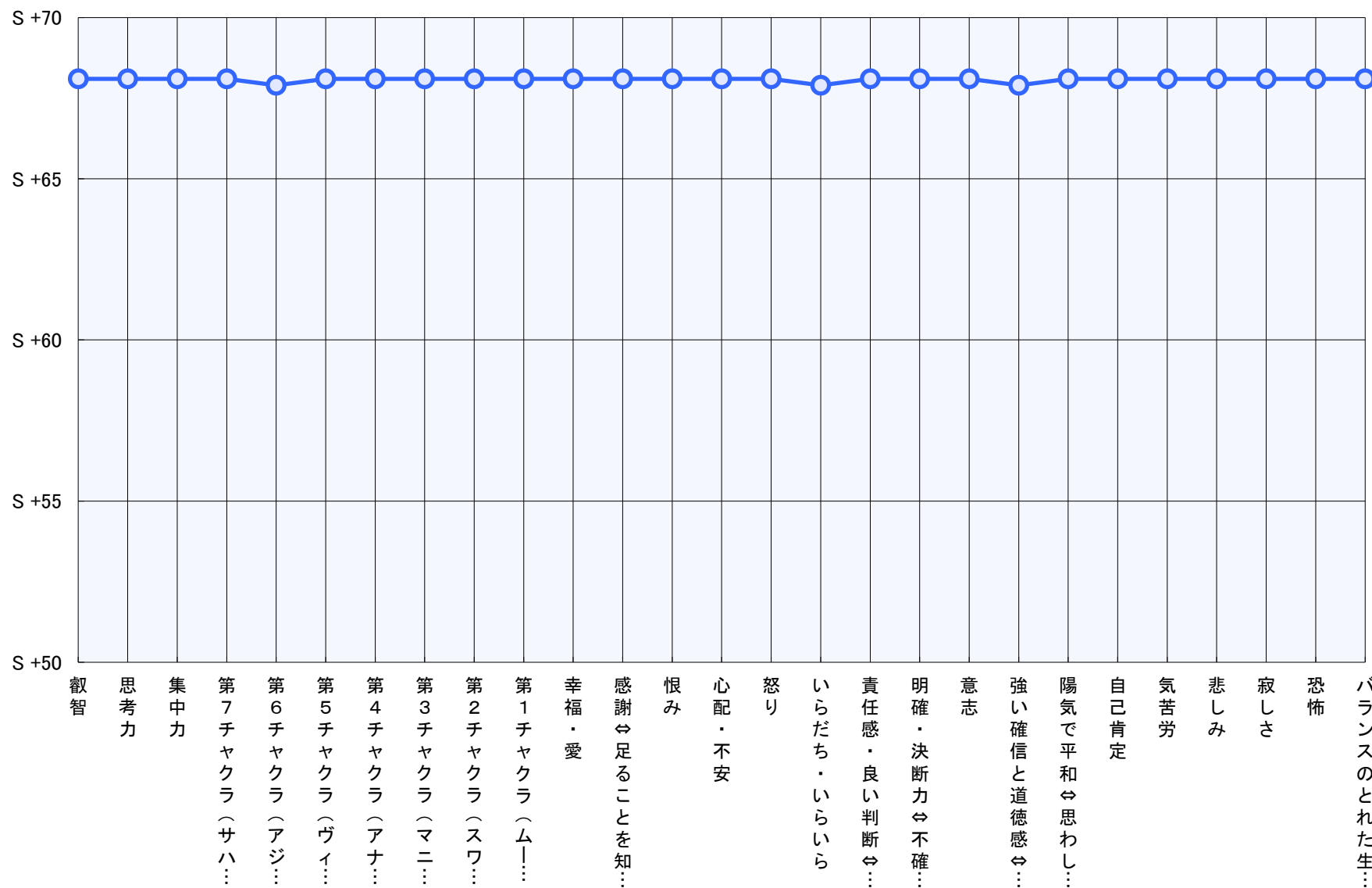
あとれとわの塩5年以上



あとれとわの塩5年以上



あとれとわの塩5年以上



測定値から導かれる指標（統計量）

1. 《活性度》… 波動値の高さ

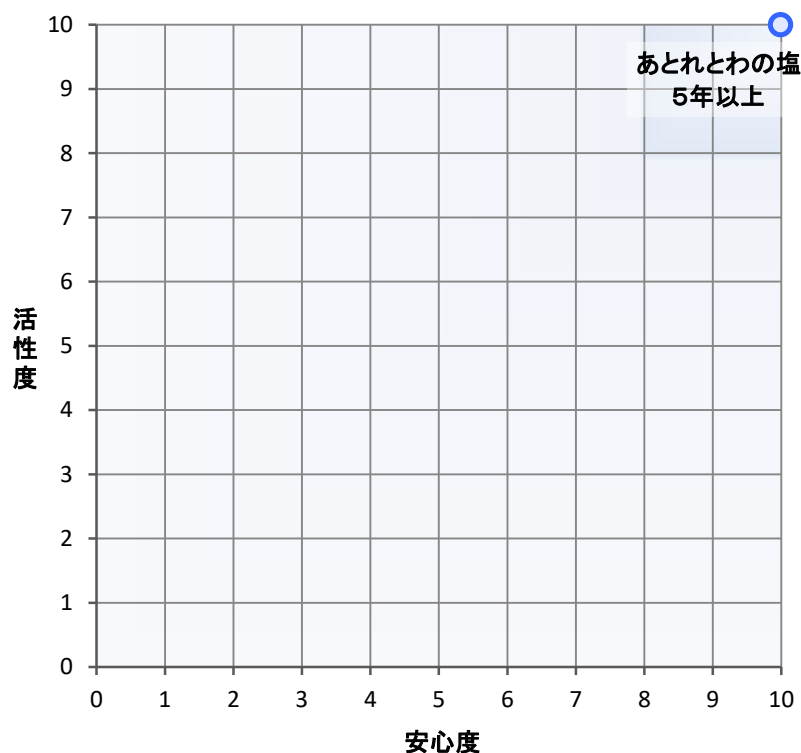
グラフ → 『《活性度》／世間の製品との比較』（3Dグラフ）
『様々な製品の波動分布Ⅰ／《活性度》』（分布グラフ）

	あとれとわの塩5年以上		
■ 最 大 値	S +68.1		
平 均 値（活 性 度）	S +68.1		
最 小 値	S +67.9		
* これまでに測定されている最も高い数値は S +68.1 です。			
■ これまでの最高値を10とすると	10.00		
波動の活性度を表します。 波動値の高さが意味するものについては、下記資料をご覧ください。 → 『物品・製品の波動値(人への作用)』			

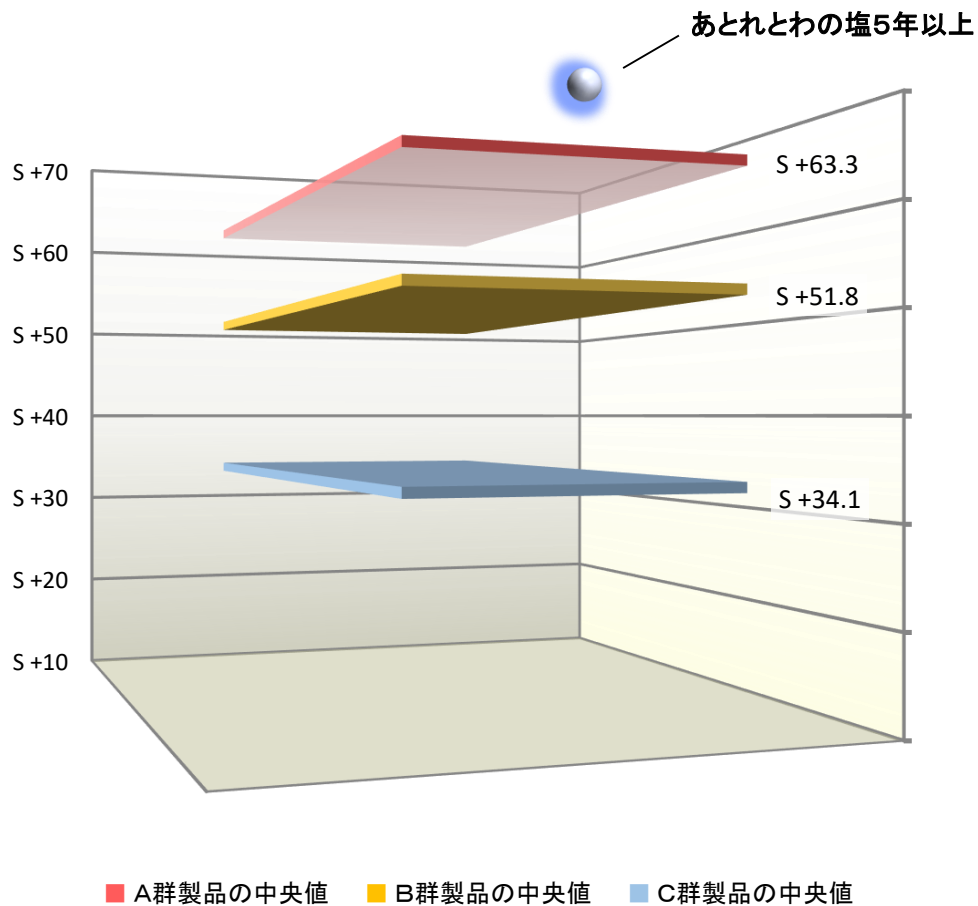
2. 《安心度》… バランス

グラフ → 『様々な製品の波動分布Ⅱ／《安心度》』（分布グラフ）

	あとれとわの塩5年以上		
■ 安 心 度	9.99		
安心して利用できる度合を表します。 ・ 数値が高い → だれもが安心して利用できます（食品など） ・ 数値が低い → 効能とリスクが同居するため、専門家の判断を要します（薬など） * 《安心度》は、標準偏差をもとに算出されています。			



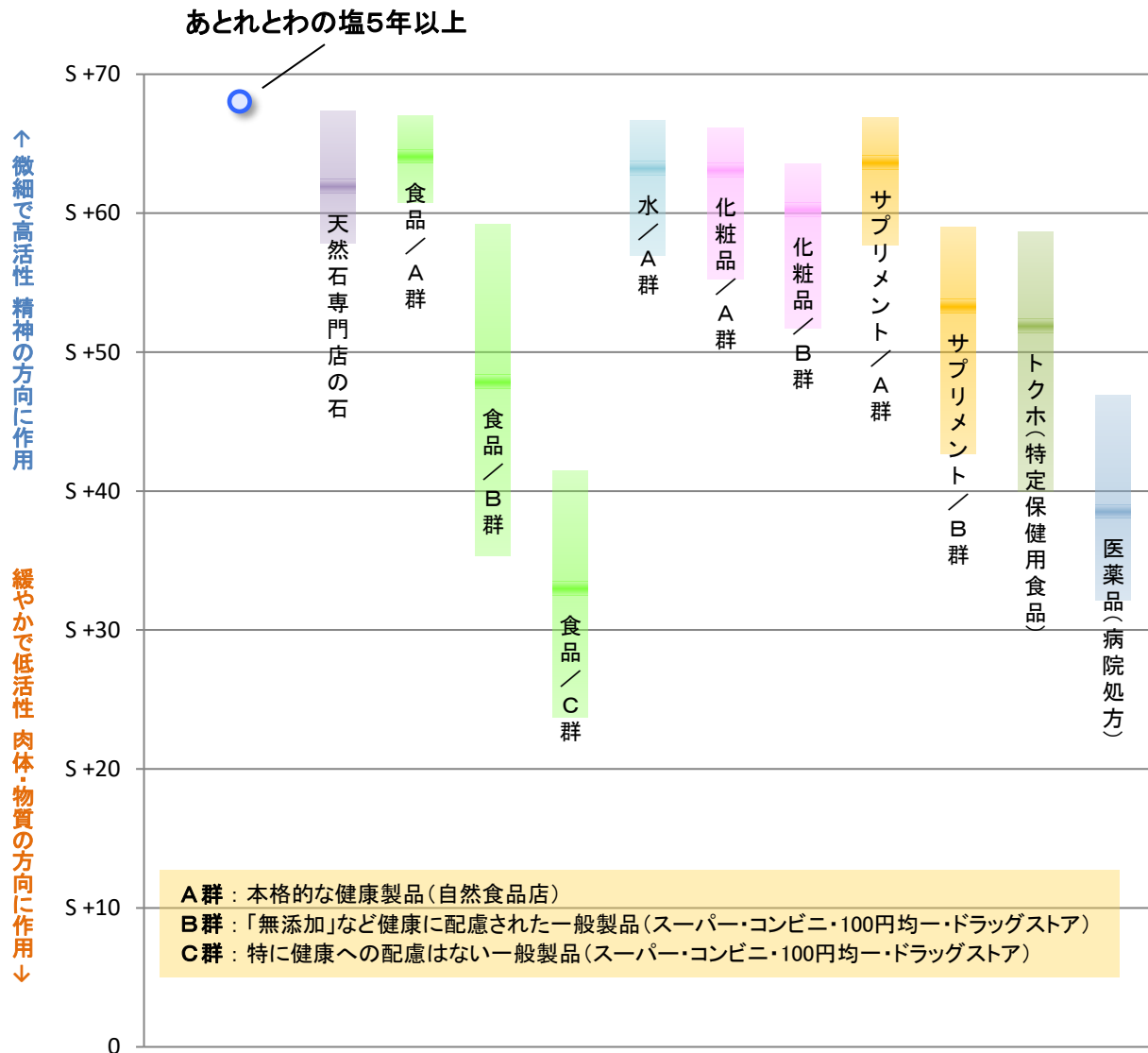
波動値の高さ／世間の製品との比較



- A群 本格的に健康・波動を考慮した製品
自然食品店・ヒーリングショップ等にて販売されているもの
 - B群 「無添加」「有機」等の表示がある、健康に配慮された一般製品
スーパー・コンビニ・100円均一・ドラッグストア等にて販売されているもの
(「トクホ」「機能性表示食品」等を除く)
 - C群 B群のような表示がなく、格別な健康への配慮はされていない一般製品
スーパー・コンビニ・100円均一・ドラッグストア等にて販売されているもの
- ・ 上のグラフは、現時点での推計値をもとに作成されております。
 - ・ 「中央値」とは、データを高低順に並べたとき中央に位置する数値のことです。
分布の形が正規分布になっていないため、平均値ではなく中央値を設定しました。

様々な製品の波動分布 I

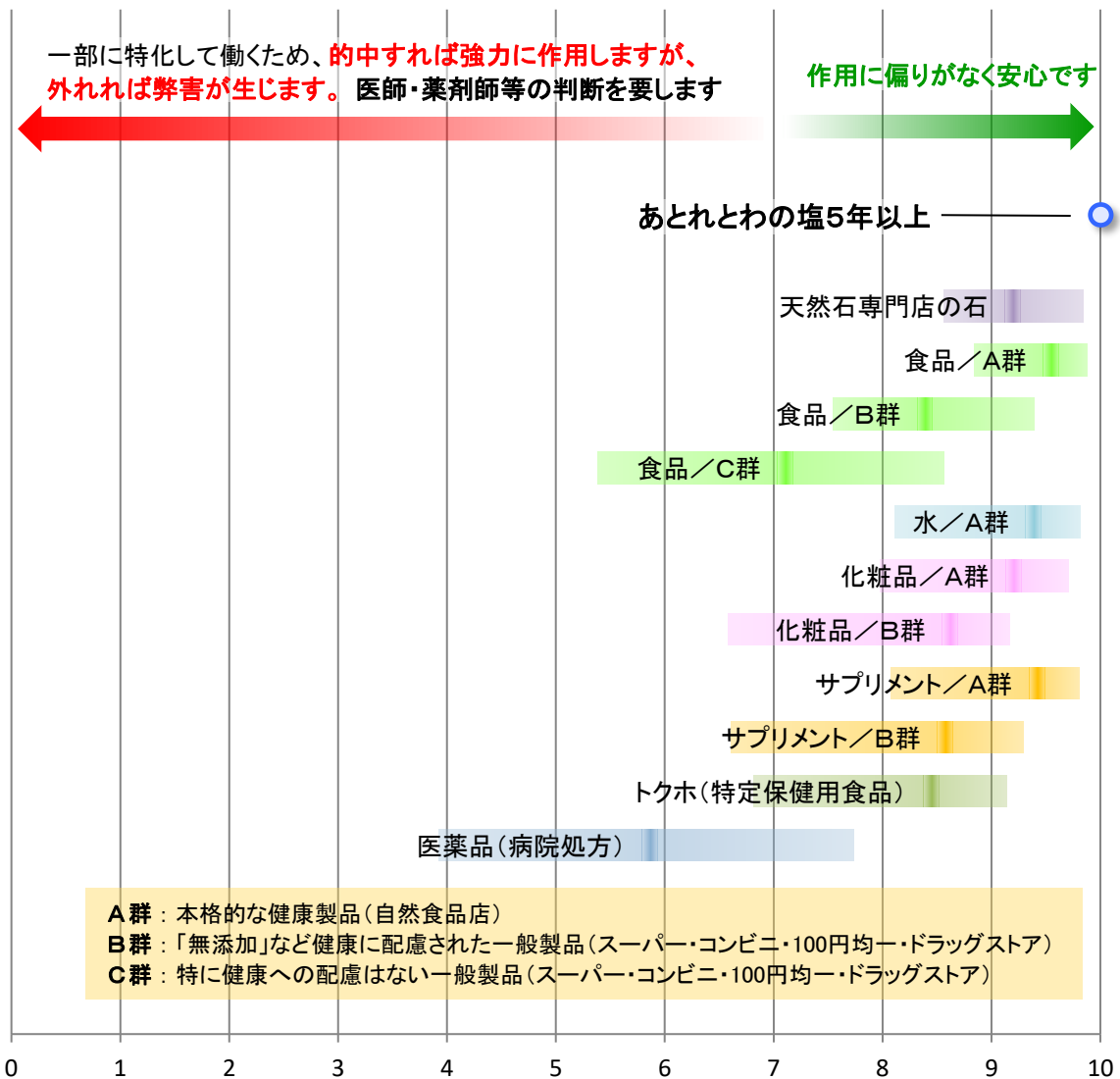
《 活性度(波動値の高さ) 》



- 各製品の波動値は、**高いところ、中間的なところ、低いところ**と、様々な領域にあります(波動の分布)。上のグラフでは、カテゴリー別に、製品の**約70%(中央値と、その上下35%ずつ)**が分布すると推定される範囲を描いています。* お手元の波動値(検体の平均値)が上図のなかでどこに位置するのかをご覧ください。一般に、上下とも、中央値に近いほど、該当する製品の数は多くなります。
 * したがって、その上下(描かれていない部分)にも、格別高い、もしくは低い製品が15%ずつ存在していることになります。
- グラフ全体についても、波動の高さとして中央付近 (S +40 ~ S +50) に位置する製品は、一般的で需要の多いものであると考えられます。
- カテゴリーの分類に際しては、「健康」「自然」「生命力」「感情・精神」「(作り手・売り手の)意識」など、波動値の高低に反映する要因を手掛かりとしました。

様々な製品の波動分布 II

《安心度(バランス)》



■ 《安心度(バランス)》とは

ひとつの製品であっても、測定項目によって波動値は異なり、数値間に差異が見られます。

《安心度》は、この差異から割り出したもので、以下の性質を表します。

- ・ **高値** = 格差が小さく、バランスがよい。誰もが安心して利用できる(食品など)
- ・ **低値** = 格差が大きく、アンバランス。特定の強力な作用が望める反面、リスクを伴う(薬など)

*《安心度》の計算式は、アクアタック研究室により作成したものです。

■ グラフの説明

《安心度》は、「天然石専門店の石」や「A群」では高く「医薬品」などでは低い、という傾向があります。

カテゴリー別に、製品の**約70%(中央値と、その両側35%ずつ)**が分布すると推定される範囲を描いています。

特定の効能を持たない「食品/C群」の《安心度》が低い理由として、添加物などの影響が考えられます。「医薬品」や「トクホ」のように特定の効能を目的として設計されたものではありませんから、想定外の偏りが生じていることになります。

天と〇と地（あとれとわ）
《あとれとわの塩5年以上》の波動

アクアタック研究室
片岡 章

《あとれとわの塩5年以上》の波動を測定させていただきました。

波動値は、高いほどよい意味になるのですが、結果は、これまでに測定されているもっとも高い数値 S +68.1 と、それに次ぐ S +67.9 のみでした。¹

すごい！—— おそらく、それが第一印象でしょう。でも、ただ「すごい！」で終わったのでは漠然としていますし、108項目もの測定が活かされません。ここから、このお塩の様々な恩寵^{おんちよう}を読み取っていきたいと思います。

波動界の仕組み（すでにご存じの方は次へ進んでください）

まず、この“波動の高さ”って、为什么呢？ そのお話を、わたしたちや自然界を構成する波動の仕組みから始めることにします。

みなさんご自身がいくつもの“^{ボディ}体”から成り立っている、ということは、ご理解いただけるでしょうか。むずかしい話ではありません。肉体・生命力・感情・精神の4つです。

このうち、物質である肉体を除く、目に見えない3つ、それが、波動からなる“^{ボディ}体”です。わたしたちの心身は、これらが重なり合っていてできています。

^{エーテル体}生命力は、肉体を動かす力、^{アストラル体}感情は、好き／嫌い、愛情／憎悪の世界、^{メンタル体}精神は、客観性、知性、愛の世界です。そして、肉体 → 感情 → 精神の順に、波動の高い世界となっていくます。

通常は感情も含めて精神ということが多いですが、神智学²では、これを明確に区別しています。感情は個人的、精神は普遍的、という違いです。

このなかで、今回のお塩の波動値が示しているのは、精神の世界です。その波動は、受け取ったみなさんのなかで、まず精神のレベルに作用し、次いで、感情体 → 生命体 → 肉体 とステージを降りながら、心身全体を^{ととの}調えていきます。

¹ 説明は略しますが、アクアタック研究室の波動値では、小数点以下に0はありません。

² 19世紀、ブラバツキー夫人によって確立された思想。R・シュタイナーは、当初この協会に属し、後に人智学の道を開きました。

《あとれとわの塩5年以上》って、どんな塩？

では、以上を踏まえていただいたうえで、このお塩の持つ特性について。
それをひとことで表現するならば、

天・自然・生命のエネルギーを原初のままに秘めた塩

でしょうか。

つまり、大本の波動が未分化のまま温存されている、ということです。色に例えると、3原色の赤・青・緑それぞれが目いっぱい輝いている白色光のような。

それはまた、陰陽どちらにも偏らない“中庸”をも意味するでしょう。今回の測定結果から導かれた「安心度（バランス）」も、それを示しています。

ひとりひとり から 世界 へ

つぎに、みなさんにとって、このお塩とは？

波動の世界は、“共鳴”によって成り立っています。「あの人とは気が合う」という、あの共鳴です。

なので、《あとれとわの塩5年以上》がみなさんに何をもたらすかは、みなさん次第（共鳴するか、しないか）でもあるのです。

高僧のありがたい説法も、聞く耳を持たない人にとっては、ただの通り過ぎる音声にすぎませんね。共鳴してはじめて、宝物は活かされます。

こうして、土地が“いやしろち”になっていくように、みなさんひとりひとりの“あり方”もまた、このお塩によって“いやしろち”となっていくます。

もちろん、受け入れ方は、ひとそれぞれ。各人のプリズムが、白色光から様々な色合いを引き出します。

といっても、それは個人の範囲に留まりません。精神波動のレベルは、他人とも自然につながるレベルです。だから、“客観的”“愛”なのです。

なので、自分がよくなるころには、いつしか、周囲のひともそのお裾分けに与^{あすか}っているはず。す。「ひとのために！」と頑張る必要もないのです。

これは、「みんな仲間だよね〜❤️」というムーディーなつながりではありません。人間ひとりひとりが自立したうえでのことです。20世紀の神秘思想家ドルフ・シュタイナーも、「人間は神殿である」という新約聖書の言葉を重視しています。各人が自立し自己を確立してこそ、本当にひとびとに寄与できるのではないのでしょうか。

もう少し詳しいお話を

ここまでは、《あとれとわの塩5年以上》の全体的なお話でした。このあとは、測定したいいくつかの項目について、具体的な説明をさせていただきます。それによって、このお塩のありがたさも、より深くご理解いただけるでしょう。

- ✚ 身体の働きや部位の波動（〔ホルモンバランス〕〔肝臓〕〔皮膚〕など）
感情・精神の波動（〔幸福・愛〕〔意志〕〔気苦労〕など）

これらは、わかりやすいと思います。働きをよくしてくれる、元気にしてくれる、ということです。

なお、[^{メッセンジャー}mRNA]は、コロナ禍以降、悪者扱いされがちですが、もともと、遺伝情報を伝達するために備わっているものですから、ここでの波動値も、それを正常化する、という意味であって、解消や削除ではありません。〔低密度リポ蛋白質（LDL・悪玉）〕も同様です。悪玉とされていますが、こちら、必要なものです。どうも人間には、物事を善玉と悪玉に分けたがるクセがあるようですね。

- ✚ 疾患の波動（〔悪性腫瘍（がん）〕〔糖尿病〕など）

ここは誤解されやすいかもしれません。「悪性腫瘍（がん）（の波動を解消する力）」の波動値が高い、と聞くと、医学や薬学の「がん撲滅！」を思い浮かべるかもしれませんが、そうではありません。むしろ真逆のアプローチです。“やっつける”ではなくて、氣滯（^{とどこお}気の滞り）を解消し、^{すがすが}がんの気配がない清々しい場をつくり出す、ということです。軍事力による解決と、平和外交による解決、その違いをイメージしていただくとうわかりやすいでしょうか。

- ✚ 塩を摂ることの懸念（〔腎臓〕〔動脈硬化〕〔高血圧〕）

常識的には、少々気になるところでしょう。でも、ナトリウムに偏らない、ミネラルバランスのよい塩であること、あるいは、加工食品や肉の摂取が少ないひとならば、塩を少し多めに摂ってもよいこと、などを考えれば、心配には及びません。それに、東洋医学の陰陽五行でも、「腎」（＝「腎臓」ではありませんが）を養うのは「^{かん}鹹（しおからい）」であるとされています。摂りすぎはいけませんが、過剰な心配は無用です。

ちなみに、私の勤めていたクリニックでは、玄米菜食を基本としていて、腎臓病の方でも普通に塩を摂っていました。もちろん自然塩です。

✚ [幸福・愛]

感情・精神の代表項目ですが、ひとことで幸福・愛といっても、様々な段階があります。波動の低い[幸福・愛]は、“自分にとって都合がよければいい”“愛よりも愛情”というレベルです。一方、波動の高い[幸福・愛]は、自分も他人もともに幸せになっていく“愛”のレベルです。

✚ [直観力・直感力]

直観はとても大切なことで、高次元の情報を受信する松果体や右脳もまた同様です。ただ、左脳については、ちょっと誤解があるようです。スピリチュアル系のひとのなかには、論理的な左脳は邪魔だ、と考える方もおられるようですが、右脳と左脳のバランスがとれていない人は、自分本位で社会性がなく、地に足のつかない“夢見る夢男さん夢子さん”になりがちです。特に、劣等感のある人はそうです。

右脳と左脳がタッグを組んではじめて、中庸の直観が実現されるのではないのでしょうか。やはり、冷徹な思考は不可欠です

なお、[直観力・直感力]の波動が低い場合は、直感力（「幽霊が見える」「明日、地震が起きる」など）、高い場合は、直観力（天や生命の真理に対する洞察）といった違いがあります。

盛りだくさんになりましたが、《あとれとわの塩5年以上》がこの世にもたらされた意味を少しわかっていただけたのではないのでしょうか。

最後に、大切なこと。

製品の波動は、つくった人や会社だけでなく、それを販売する人、使用する人からも影響を受けます。なので、このお塩を尊重して付き合っていていただきたいです。

また、頑張っても無理に広める必要もないでしょう。波動が歪みかねません。このお塩は、“広める”ではなく、“（ふさわしい人に）広まる”お塩なのだと思います。

